

株主の皆様へ

日本板硝子株式会社
第156期 報告書
2021年4月1日～2022年3月31日



NSG ボタニカル™は、農業市場向け
ガラス製品の新ブランドです。
詳細はP5のトピックスをご覧ください。

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、罹患された方々の一刻も早い回復と株主の皆様とご家族のご健康と安全を心よりお祈り申し上げます。

さて、当期(2022年3月期)は、当社グループの中期経営計画「リバイバル計画24(RP24)」の初年度でした。当社グループでは、グループを挙げてこのRP24遂行に取り組んでまいりました結果、当期の業績につきましては、売上高が前期比20%増の6,006億円(前期は4,992億円)、営業利益は前期比53%増の200億円(前期は131億円)、税引前利益は119億円(前期は172億円の損失)、当期利益は68億円(前期は163億円の損失)、親会

社の所有者に帰属する当期利益は41億円(前期は169億円の損失)となりました。

2023年3月期は、中期経営計画RP24の中間年度に当たります。ロシアによるウクライナ侵攻等によって世界経済は不透明度合いを増しており、当社グループもエネルギーを中心とする投入コストの高騰など大きな影響を引き続き受ける見通しです。

こうした厳しい経営環境にありましても、リスク管理を強化し、初年度に続きRP24完遂に取り組み、「3つの改革(コスト構造改革、事業構造改革、企業風土改革)」と「2つの重点施策(財務基盤の回復、高収益事業へのポートフォリオ転換)」を断行し、持続的成長を果たせる強い事業体質を構築してまいります。

また、当期の普通株式の期末配当につきましては、当社グループの業績、財務状況等を総合的に勘案し、誠に遺憾でございますが、その実施を見送ることといたしました。配当は株主の皆様にとって非常に重要なものであると認識しており、グループの業績改善、財務基盤の強化に注力し、一日も早い配当再開を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

早期の収益力の回復と事業構造の転換の加速

現在の当社グループにとりまして対処すべき重要な経営課題は、早期の収益力の回復と事業構造の転換の加速です。

コロナ禍からの経済回復の過程でサプライチェーンの混乱や原燃材料価格の高騰など事業環境の変化が起っています。これらの変化に早期に対応し、収益力の回復を果たさなければなりません。RP24に掲げた一番目の改革「**コスト構造改革**」の推進により、本質的なコスト構造改革(人員効率化、固定費削減、購買コスト削減等)に引き続き取り組んでまいります。DX(デジタルトランスフォーメーション)はその推進に不可欠のものと考えており、全社横断で進めて行く予定です。自動車用ガラス事業の収益力回復は喫緊の課題であり、資産効率の改善に取り組んでまいります。

当社グループが持続的な成長を遂げていくために、RP24に掲げた二番目の改革「**事業構造改革**」の加速が必要です。建築用ガラス事業では、メガソーラー向け太陽電池パネル用ガラスの拡大やビル・住宅向け建物一体型太陽光発電パネルの開発に取り組んでおり、汎用

窓ガラス事業から高付加価値ガラス事業への転換を進めています。高機能ガラス事業では、コンタクトイメージセンサーに使用されるSELFOC® Lens Arrayの産業用検査機用途への展開を図っています。脱炭素社会を背景に伸びる複合材市場への新たなソリューションとして高弾性・高強度ガラスファイバー「MAGNAVI®」を上市し、エレクトロニクス分野や再生エネルギー関連分野などへの拡大も図っています。

RP24に掲げた三番目の改革「**企業風土改革**」は、「コスト構造改革」「事業構造改革」を成し遂げていくための意識改革と人材開発が主眼です。オープンなコミュニケーションと人材の多様化により、事業改革をスピードアップしていきます。

以上の改革の実行により、稼ぐ力を強化し、安定的な純利益とフリーキャッシュフローを創出する事業体質への変革を進めていきます。

気候変動をはじめとする環境問題への企業の積極的な取り組み要請はますます高まっていくものと考えています。当社グループでは、カーボンニュートラル実現に向けてグループ内のCO₂排出量の削減を進めていくとともに、省エネルギー・創エネルギーガラスの販売により社会全般のCO₂削減にも貢献していく所存です。

NSG at a Glance

2021年4月1日～2022年3月31日

NSGグループは、建築用ガラス、自動車用ガラス、高機能ガラスの各分野でグローバルに事業を展開しています。

高機能ガラス

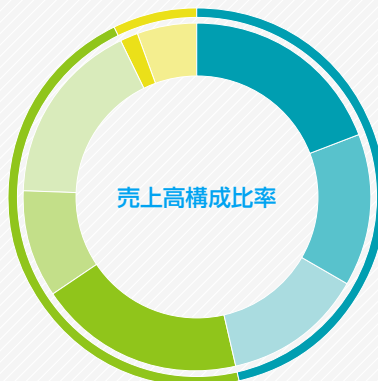
7%

欧州	1%
アジア	5%
米州	0%



- ・日本、中国、欧州に主要製造拠点
- ・ニッチ市場でNo.1／only1

当期：ファインガラス事業は業績改善が進む。情報通信デバイス事業は、在宅勤務普及等によりプリンター用レンズが続伸



建築用ガラス

47%

欧州	19%
アジア	14%
米州	13%



- ・世界に27のフロート窯
- ・薄膜太陽電池パネル用ガラスのリーディングサプライヤー

当期：売上高・営業利益ともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた前期から改善し、増収増益

自動車用ガラス

46%

欧州	19%
アジア	10%
米州	17%



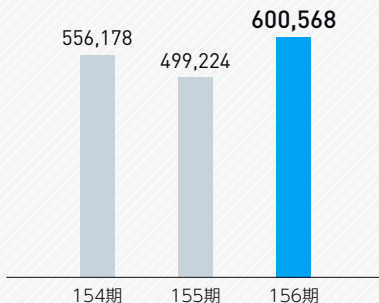
- ・14か国に主要製造拠点
- ・補修用ガラスの流通・販売で世界最大級

当期：売上は前期を上回るが、半導体不足等による自動車生産の制約や投入コスト増などにより営業損失を計上

売上高

(単位：百万円)

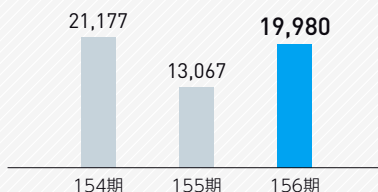
600,568 百万円



営業利益

(単位：百万円)

19,980 百万円



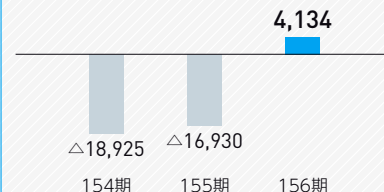
税引前利益

11,859 百万円

親会社の所有者に 帰属する当期利益

(単位：百万円)

4,134 百万円



当期利益

6,759 百万円

注1：当社は国際会計基準（IFRS）に基づいて連結財務諸表を作成しています。

注2：上記に記載の営業利益は、個別開示項目ベースの営業利益を記載しています。



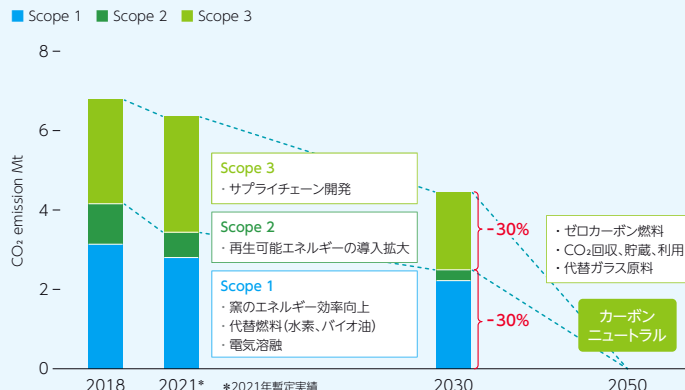
2050年のカーボンニュートラル達成を宣言

2030年のCO₂排出量削減目標を2018年比21%から30%に引き上げ

持続的社会的な実現への貢献と中長期的な持続的成長の両立を目指す当社グループにとって、環境問題への取り組みは最重要課題の一つです。

このたび、人類共通の課題である気候変動対策の一環として、当社グループは、2030年までに温室効果ガス排出量を2018年対比30%削減(従来目標21%から引き上げ)とするとともに、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを宣言しました。

この実現のため、ガラス製造プロセスの最適化や省エネルギー技術の開発、代替燃料や再生可能エネルギーの導入、サプライチェーン開発などに取り組むとともに、省エネルギー・創エネルギー製品の開発拡販を通じて、社会から排出されるCO₂削減にも貢献していきます。



世界初、バイオ燃料を100%使用したフロートガラス製造実験に成功

英国のグリーンゲート事業所(セントヘレンズ)において、バイオ燃料を100%使用したフロートガラス製造の実証実験に世界で初めて成功しました。この実験は、英国のビジネス・エネルギー・産業戦略省のエネルギー革新プログラムの一環として実施されたものです。現在の主燃料である天然ガスに代わる持続可能な低炭素燃料の導入を検討する取り組みの一つであり、今回の実験では、約80%ものCO₂排出量削減効果が確認されました。



▲グリーンゲート事業所(英国)

ポーランドで再生可能電力購入契約を締結

当社グループは、ポーランドで事業を行うガラスメーカーとして初めて再生可能電力の購入契約を締結しました。当社グループは、風力発電所の発電能力の51%分を10年間にわたり購入します。これは、再生可能エネルギーの普及



を後押しするとともに、不安定な電力価格への影響を軽減しつつ、長期的に予測可能なコストで再生可能電力確保を目指そうという試みです。この再生可能エネルギー導入によるCO₂削減効果は約15,000台の乗用車が1年間の運転で排出する量(走行距離2.78億kmの排出量)に相当します。

太陽電池パネル用TCOガラスの拡大

「脱炭素社会」推進の一翼を担う技術に太陽光発電があり、太陽エネルギーを電気に変換するための主要な部品に私たちの高品質なガラス製品が使用されています。特に、当社独自のオンラインコーティング技術により製造される太陽電池パネル用透明導電膜ガラス(TCOガラス)は供給拡大が続いており、再生可能エネルギーの普及に貢献しています。



TOPICS

TOPIC 1

2022年は「国際ガラス年」

2021年5月18日の国連総会において2022年を国際ガラス年とすることが定められました。

これは、ガラスが持続可能な現代社会を支えるツールであり、2022年が当社グループのピルキントン社が発明したフロート法特許から70年の節目に当たる、などのことから、ガラスの過去、現在、そして輝かしい未来を祝おうというものです。当社でも「国

際ガラス年」特設ページをオープンし、ガラスが持つ様々な魅力を発信しています。



<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/iyog-2022>

TOPIC 3

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価

当社は、環境影響の情報開示に取り組む国際的NGOのCDP(本部:英国)から、「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。同評価は、気候変動問題に対する企業のサプライチェーンへの働きかけを評価し、バリューチェーン内での企業間連携の促進を目的に導入された評価指標で、世界上位約500社(うち日本企業105社)だけが「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されています。



TOPIC 2

電子機器へのワイヤレス送電を実現する ガラスアプリケーション

このアプリケーションは、当社とCohda Design Limited(英国)が共同開発したもので、当社のNSG TEC™(透明導電膜ガラス)を通じワイヤレスで、電気やデータを様々な電子機器に送ることができます。

スマートフォンなどのワイヤレス充電だけでなく、自動車分野ではフロントガラスのヘッドアップディスプレイのスクリーンへの送電など、多様な用途が期待されるアプリケーションです。



Photography: Cohda Design Limited

● 表紙の写真について

農業市場向けガラス製品ブランド 「NSG ボタニカル™」スタート

当社は農業市場向けに新ブランド「NSG ボタニカル™」シリーズを立ち上げました。

日射量が少なく気温が低い環境でも、日射光を有効活用し農作物を栽培する温室栽培は、今後有望な農業形態の一つです。日射光は、透過率が1%上がると収穫量が1%増加する農作物もあるほど、農作物の収穫量向上のうえで重要な要素です。また、植物や作物は多様な性質を持っており、それぞれのソリューションが求められています。「NSG ボタニカル™」シリーズは、ガラスの特性を生かし、日射光透過率向上をはじめとする様々な機能の発揮によって、農作物の収穫量増加に寄与する製品ブランドです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当9月30日・3月31日
公告の方法	下記ホームページに掲載する。 https://www.nsg.co.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物ご送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話ご照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご住所変更などのお届出及びご照会は、株主様の口座のある証券会社宛をお願いいたします。
証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様の株式につきましては、上記の電話ご照会先までお問い合わせください。

▶ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1～99株の株式)をご所有の場合、当社に対して、

- (1) 買取請求または
- (2) 買増請求(ご所有の単元未満株式と併せて1単元(100株)に達するまでの株式を買い増すこと)

をすることができます。

お手続きの詳細につきましては、一般口座ご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社までお問い合わせください。特別口座の株主様(証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様)につきましては、上記の電話ご照会先までお問い合わせください。

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	日本板硝子株式会社
本店	〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号 (住友不動産三田ツインビル西館)
設立	1918年11月22日
従業員数(連結)	25,232人
資本金	116,709百万円
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード:5202) ※2022年4月4日 プライム市場に移行
お問い合わせ	https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us

INFORMATION

お知らせ

第156期定時株主総会の議決権行使結果につきましては、臨時報告書により、インターネット上で、EDINET (<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>)に掲載されるとともに、当社ホームページにおいても開示されます。
これらをもって決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承ください。

ホームページのご案内

当社グループのホームページでは、決算情報や最新プレスリリースなど、様々な情報を掲載しております。
どうぞご活用ください。

スマートフォンからは
こちらのQRコードを
お使いください
(日本語版)



<https://www.nsg.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

